

曖昧キーワードチェックツールの開発と実践的適用	
An ambiguous keyword check tool development and practical application	
山本 芳郎、高山 啓 { yoshiro.yamamoto.pz hiraku.takayama.fm }@hitachi.com 株式会社 日立製作所 情報・通信システム社 ITプラットフォーム事業本部 開発統括本部 ソフトウェア本部 品質保証部	
<p>発表要旨：</p> <p>近年、ソフトウェアの大規模化・複雑化に伴い、ソフトウェア開発で作成される要求仕様書や機能仕様書などのドキュメントは、肥大化する傾向にある。また、それらドキュメントは、主に自然言語(日本語)で記述され、曖昧さや不備が潜在し、それらがプログラム不良の作り込みや市場トラブルにつながることが多い。このような課題に対して、レビュー手法やリーディング技法、チェックリスト整備など、すでにいくつかの取組み・研究が行われている。</p> <p>我々の組織でも、組織的課題として、ドキュメントに起因するトラブルが発生しており、ソフトウェア製品品質を向上させるため、ドキュメント品質強化が急務となっている。そこで、これらの問題解決のために、実業務上の背景・制約を踏まえ「簡単にチェックできる」「レビューアとしての業務経験に依存しないチェック」という点に配慮し、従来研究「キーワードベースレビュー」に基づき実践的な取組みを行った。</p> <p>本発表では以下の取組み、評価結果及び効果について報告する。</p> <ul style="list-style-type: none">・曖昧さや不備につながる用語（ここでは曖昧キーワードと呼ぶ）の整理・拡充・曖昧キーワードを機械的にチェック可能な「曖昧キーワードチェックツール」開発（基にした従来研究とは違うドキュメント形式に対応）・品質保証部門で本ツールを実践的に運用するための仕組みとしてレビュープロセスの整理・実際の業務への「曖昧キーワードチェックツール」適用および評価	
<p>キーワード：</p> <p>曖昧、ドキュメント、キーワード、仕様書、設計書、レビュー、品質、仕様検証</p>	
<p>想定している聴衆</p> <p>ソフトウェア品質の向上に興味のあるソフトウェア開発者、テスト技術者 品質保証・品質管理に携わる方</p>	
<p>発表者の紹介（全角100文字）：</p> <p>2003年よりメインフレーム製品の品質保証業務を担当。</p> <p>現在はデータベース製品など基幹システム向け製品の品質保証を担当しつつ、部内の品質改善活動にも従事。</p>	